

福州市友好都市提携 30 周年記念公式訪問団報告書（経済交流コース）

長崎市議会議員 板坂 博之
 長崎市議会議員 奥村 修計
 長崎市議会議員 中村 照夫
 長崎市議会議員 深堀 義昭

◎訪問の目的

福州市との友好都市 30 周年を迎えることを記念して、親善訪問団 96 名（公式訪問団 38 名・市民訪問団 20 名・経済訪問団 38 名）を派遣し、これまでの交流の歴史を振り返るとともに、今後さらなる相互交流を再確認し合い、相互理解や国際親善を推進する。

以下、その概要についてご報告いたします。

◎訪問期間 平成 22 年 8 月 23 日（月） ～ 8 月 27 日（金）（5 日間）

◎訪問都市 中国 ： 福州市、上海市

日 程

月 日 曜	時間	行 程	備 考
8 月 23 日(月)	11 時 40 分	公式訪問団集合	
	12 時 10 分	結団式	
	13 時 15 分	長崎空港発	
	13 時 50 分	上海浦東空港着	
	15 時 10 分	上海浦東空港発	
	16 時 40 分	福州空港着	
	18 時 30 分	公式訪問団福州市表敬	
	19 時 00 分	歓迎レセプション	
8 月 24 日(火)	8 時 30 分	記念植樹	
	午前	福州市港湾施設視察	
	午後	経済交流会議（記念講演）	
	17 時 30 分	授与式	
	18 時 00 分	友好都市提携 30 周年記念祝賀会	
	20 時 30 分	温泉公園視察・クルーズ	

8月25日(水)	午前 午後 19時45分 21時05分	福州日系企業交流会・日系企業の現地視察 三坊七巷視察 福州空港発 上海浦東空港着	
8月26日(木)	午前 午後	上海万博視察 市内視察	
8月27日(金)	9時55分 12時25分	上海浦東空港発 長崎空港着	

《福州市》

1 福州市の訪問の概要について

○福州市の概要

福州市は「榕城」と略称され、福建省の省都であり、五つの区、二つの市、六つの県を所管している。総面積は1.2平方キロ、定住人口は683万人で、その内、市内の面積は176.59平方キロで、人口は271万人である。

福州市は歴史が長く、景色が美しく、文化が盛んで、民間の風俗は素朴ですが、「福のあるところ」とも言われており、中国で初めて対外開放の港湾都市、国際歴史文化名城とも指定されている。

千年以上の歴史を持っている福州市は、改革・解放、特に近年以来、生氣と活力がみなぎっており、相次いで、「国家衛星都市」「国家庭園都市」「国家環境保全モデル都市」「中国優秀旅行都市」「全国文明都市づくり先進都市」などの称号を獲得している。なお、2006年以來相次いで国際的に權威ある機構に「世界の魅力都市トップ200」「中国製造業競争力トップ10」「中国の投資価値が最も高い都市」に選ばれている。

また、福州市は、中央政府の福建省海峡西岸計経済区建設促進を支援するという重大な歴史的チャンスをつかみ、さらに、飛躍的な經濟發展を遂げようとしている。

○友好都市提携の経緯

ほとんどの長崎華僑の出身地であり、中日友好の船「明華号」の長崎訪問の折に

中日友好協会会長に要望書を提出し、歴史的なつながりをもとに締結。

- ・ 友好都市提携 昭和 55 年 10 月 20 日
- ・ 水産農林技術交流 昭和 56 年から継続
- ・ 水道技術交流 平成 3 年から継続
- ・ アマチュア無線交流 昭和 60 年から継続

(1) 福州市表敬

- ・ 日時 8 月 23 日 (月) 18 時 30 分～19 時
- ・ 場所 西湖大酒店 3 階御風庁
- ・ 訪問者 公式訪問団、経済訪問団団長、
- ・ 対応者 袁 栄祥 共産党福州市委員会書記
蘇 増添 福建省人民政府副省長兼福州市長ほか 15 名
- ・ 内容
 - ・ メンバー紹介
 - ・ 会 談

袁書記 長崎市は、経済発展、造船、水産加工、都市建設、管理などの分野ですばらしい。福州市はめざましく経済発展しているが、発展途上なので、滞在中にご指導いただきたい。

田上市長 今回は三つの団あわせて 96 名で訪問しているが、こんなに多く参加しているのは福州市に親近感をもっているからだと思う。これまでの 30 年間の友好の歴史を礎に発展させていきたいという思いで訪問している。

※ 引き続き 19 時より歓迎レセプションが行われた。



福州市表敬

(2) 記念植樹

- ・日時 8月24日(火) 8時30分～9時15分
- ・場所 閩江公園南公園
- ・参加者 福州市 徐副市長ほか
長崎市 訪問団全員(水産研修コースを除く)
- ・内容 閩江公園内のモニュメントを見学後、今回の訪問を記念して福州市の木であるガジュマルの木を植樹した。



記念植樹



記念植樹

(3) コース別研修（経済交流Ⅰ部）

ア. 福州市港湾施設視察

日 時：8月24日（火）10：15～12：00

場 所：馬尾港コンテナ埠頭及び臥龍山庄ホテル会議室

(1) 馬尾港コンテナ埠頭視察

現地にて、陳建林青洲コンテナ埠頭公司総経理による現況説明を受けながら、埠頭を見学した。

(2) 意見交換

臥龍山庄会議室に場所を移し、福州市港口管理局鄧坤副局長ほかの出席を得て、港湾及び物流等について意見交換及び質疑応答をいただいた。

（内容）

参加者からは、港湾計画のспанや輸出入の割合、また、福州から日本への川砂の輸出をやめた理由などの質問があった。なお、馬尾港のコンテナ埠頭を視察して改めて近年の福州港の飛躍的な発展に驚嘆したところである。

イ. 経済交流会議

日 時：8月24日（火）14：30～16：50

場 所：金安大厦7階 福州市外経貿易経済合作局会議室

(1) 第1部 福州市の経済、投資状況等について

福州市外経貿易経済合作局張献勇局長ほかの出席を得て、福州市の経済状況等についての概況説明及び質疑応答をいただいた。

特に、経済的には、2009年5月、中国は「福建省海峡西岸経済圏建設加速に関する若干の意見」を発表し、海峡西岸を国レベルの戦略に格上げしたことから、福州市はこれまでにない新たなチャンスを迎えることになり、国内外の有志者にとって福州市は事業経営の大きな舞台になっているとの説明があった。



経済交流会議のようす(1)



経済交流会議のようす(2)

(2) 第2部 記念講演

香港を中心に活躍している肇英實業川副哲董事長（長崎南高卒）を招き、「香港、中国華南の経営環境とビジネスチャンス、リスクマネジメント～アジアとの形成、それに求められる経営資源」と題して、経済訪問団一行を対象に講演会を実施した。

特に、今回、現地で活躍されている方の生の講演を聴く事ができて、今後日本企業が中国に進出する場合のビジネス環境やリスク等について非常に参考になった。

(4) 授与式

福州市から田上富久長崎市長に「福州市榮譽市民証」の授与、「福州市の鍵」の贈呈、長崎市から蘇増添市長に「長崎市国際親善榮譽証」の授与。

また、長崎市と福州市の友好都市提携 30 周年を記念し、未来に向けた両市の友好協力関係及び両市民の理解と友情を一層深めるため、人的交流、経済、文化、観光、水産及び水道を中心とした分野における積極的な交流促進に努め、両市間友好関係の発展のために相互努力する旨の合意書を取り交わした。

- ・ 日時 8月24日（火） 17時30分～18時
- ・ 場所 シャングリラホテル3階龍岩庁
- ・ 参加者 福州市 袁 榮祥 共産党福州市委員会書記
蘇 増添 福建省人民政府副省長兼福州市長
ほか約15名
長崎市 公式訪問団38名、経済訪問団団長、副団長
- ・ 内容
 - ① メンバー紹介
 - ② 長崎市長への「福州市榮譽市民」授与、「福州市の鍵」の贈呈

- ③ 福州市長への「長崎市国際親善榮譽証」授与
- ④ 福州市長あいさつ
- ⑤ 長崎市長あいさつ
- ⑥ 記念品交換
- ⑦ 両市の友好都市交流促進合意書への署名



長崎市長への「福州市榮譽市民」授与



両市の友好都市交流促進合意書への署名

(5) 長崎市・福州市友好都市提携 30 周年記念祝賀会

- ・日時 8月24日(火) 18時10分～20時30分
- ・場所 シヤングリラホテル3階龍岩庁
- ・参加者 福州市 袁 榮祥 共産党福州市委員会書記
蘇 增添 福建省人民政府副省長兼福州市長
ほか約15名

長崎市 親善訪問団 96 名全員

・ 内容

- ① 福州市長あいさつ
- ② 長崎市長あいさつ
- ③ アトラクション（楽器演奏、歌唱等）
- ④ 福州市による歌の披露「北国の春」
- ⑤ 長崎市による歌の披露「上を向いて歩こう」



祝賀会

(6) 温泉公園の視察・閩江ナイトクルーズ

- ・ 日時 8月24日（火） 20時30分～22時30分
- ・ 参加者 親善訪問団 96名全員
- ・ 内容 ○温泉公園での市民イベントの視察及び参加
 - ・ ステージで友好都市として紹介を受け、親睦を図るため、「北国の春」を福州市の市民の方々と一緒に歌った。○閩江ナイトクルーズ
 - ・ 親善訪問団全員が3隻に分かれ、乗船し、閩江ナイトクルーズを行った。

(7) コース別研修（経済交流Ⅱ部）

ア. 福州日系企業交流会

日 時：8月25日（水）8：30～9：30

場 所：福州西湖大酒店3階 会議室

福州市をはじめ福建省に進出している日系企業幹部を招き、意見交換及び質疑応答をいただいた。

終了後、福州住電装有限公司（住友電装株式会社の現地進出子会社）の協力で、同社の現地工場に移動し、視察（10：00～11：15）を行った。

（内容）

参加者からの主な意見としては、福州市でのストライキの状況や日本からの中小企業の進出状況など質疑が出され、また、日本企業8社の現地幹部の方々の苦労話なども聞くことができ、これから中国に進出する中小企業にとって非常に有意義な交流会になった。

特に参考になったのは、福州市人民政府の経済顧問に現地進出企業（日立）の立ち上げから関わった企業OBの日本人が就任し、進出企業の相談窓口となっており、この点これから進出しようとする企業にとっては大きな力になるということがわかった。



福州日系企業交流会のようす

イ. 三坊七巷視察

日 時：8月25日（水）13：00～14：45

場 所：福州市 三坊七巷地区

福州市が、明・清時代の現存する建物を活かし、この5月に完成した街並みの復元プロジェクト「三坊七巷」について、現地担当者の説明を得ながら視察を行った。

現存している当時の建物を活かしながら周辺一帯を整備し、往時の雰囲気再現した街並みは、近代的な開発が進む福州市街地の中にあっては独特な雰囲気に包まれていた。



カートに分乗して視察



三坊七巷の街並み



三坊七巷の街並み

《上海市》

1 上海万国博覧会について

○上海万国博覧会の概要について

上海万国博覧会は、今年5月1日から10月31日までの184日間の会期で開催されており、参加国については、史上最高の242の国・国際機関が出展。全体面積は、328ヘクタールと広大である。なお、入場者数も約7万人が見込まれている。

① 「浦西園區（企業館ゾーン）」

企業ゾーン出展パビリオンは、合計40館で、主な出展パビリオンは、日本産業館、コカコーラ館、上海企業連合館、中国鉄道館等である。

② 「浦東園區（企業館ゾーン）」

アジア各国のパビリオン群は、Aゾーンに中国国家館、日本館、インド館、サウジアラビア館、オーストラリア館等、合計17館がそれぞれ個性的な形状のパビリオンを構えている。

Cゾーンは、面積、国数が最大規模で、フランス館、スイス館、エジプト館、イギリス館、アメリカ館等、合計29にも及ぶパビリオンで構成されている。

(1) 上海万国博覧会の視察

- ・日時 8月26日（木） 午前
- ・参加者 親善訪問団96名全員
- ・内容
 - ① アジアゾーンを各自で視察
 - ② 日本館（孫文と梅屋庄吉展の視察）

・はじめに、孫文と梅屋庄吉に関するパネル展示について梅屋庄吉のひ孫である小坂文乃氏（日比谷松本楼常務）による説明を受け、その後、孫文と梅屋庄吉に関する映像を視聴した。



日本館



中国館



孫文と梅屋庄吉展



梅屋庄吉のひ孫である小坂文乃氏（日比谷松本楼常務）による説明

2 上海市内の視察

(1) 豫園の視察

豫園は、明時代に四川省の役人である潘允瑞が両親のために建設された庭園で、18年の歳月をかけて造られたもので、その面積は約2万㎡あり、その周囲には豫園商城と呼ばれる土産品等を販売する商店が数多くある。

- ・日時 8月26日（木） 午後
- ・参加者 親善訪問団 96名全員